

番組研究委員会 実践レポート（小一理科）

1 提案者 仲澤 俊紀（諏訪市立上諏訪小学校）

2 提案内容

（1）単元名「こん虫の育ち方 バッタやトンボの育ち方」

（2）利用した番組名「バッタのそだちかた」

（3）授業のねらい

チョウと同じ昆虫であるバッタやトンボはどのように育っていくのか調べる児童が、番組を見ることを通して、バッタやトンボは卵→幼虫→成虫という順序で成長することに気づき、チョウの育ち方と比べて、似ているところと違うところがあることをとらえる。

（4）授業の実践記録

段階	学習活動	児童・生徒のようす	指導・助言	備考
導入	1 前時にわかったことを確認する。	・チョウは卵→幼虫→サナギ→成虫と姿を変えながら育っていった。 ・チョウやバッタ、トンボなどを昆虫といった。	・チョウは卵から成虫になるまでどのような順序で育っていったか問い、姿の変わり方に関心をもたせる。	
学習問題：チョウと同じこん虫であるバッタやトンボは、どのようなじゅんじょで育つのだろうか。				
	2 予想する。	・バッタやトンボは、チョウと同じように育つのかな。 ・違う育ち方をするって聞いたことがある。		
学習課題：バッタやトンボのよう虫からせい虫になるまでを調べ、チョウとくらべよう。				
展開	3 番組を視聴し、バッタの成長する様子を調べる。	・やっぱり最初は卵から産まれるんだ。これはチョウと似ているね。 ・でも土の中に産むのはチョウと違っているね。	・10分の番組であるので、途中で気づいたこと等を記録、全体で整理し	

		・幼虫が出てきた。チョウはイモムシが出てきたけど、バッタは見た目がバッタ！ってわかりやすいね。 ・葉を食べている。これはチョウと似ているね。 ・皮を脱いでいるね。脱皮するんだ。チョウと似ているね。 ・なかなかサナギにならないね。 ・羽が生えてきたよ。もう成虫になるのかな。 ・バッタはサナギにはならないみたいだ。	ながら進め、集中して視聴できるようにする。 	
	4 トンボの成長する様子も調べる。	・トンボは水の中に卵を産むんだね。数もたくさん産んでいる。 ・トンボもサナギにならずに羽が生えた。バッタみたいだ。 ・バッタもトンボも、羽が出てくるときにはチョウと同じようにくしゃくしゃになっているんだね。		
まとめ	5 バッタやトンボの育ち方について言葉でまとめる。	・バッタやトンボはチョウと違い、卵→幼虫→成虫の順で育ち、サナギにならない。 ・チョウとバッタやトンボは違うところもあるし、似ているところもあった。		

(5) 考察

・モンシロチョウを育てた後、バッタやトンボを育てるのは授業時数的に難しいが、動画で成長の様子を丁寧に観察することができた。

・バッタやトンボの成長の順序を知るためだけでなく、学習したモンシロチョウの成長の様子と比べるように課題を設定したことで、卵を産む場所、数、幼虫のときの姿や色、食べ物、脱皮の回数、羽の様子、成虫になるまでの期間など、子どもたちなりに比べる視点を持ち観察していた。また、自分とは違った視点で比べている友の意見に耳を傾けていた。

(6) 番組への要望

・映像が古く大画面でも見にくいものがあるので、きれいな映像へと更新してほしい。